

会 議 録

会議の名称	平成24年度 第4回 大内地域協議会
開催日時	平成25年2月16日(土) 午前10時～
開催場所	大内総合支所 大会議室
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	佐々木浩 鈴木久雄 佐々木文勝 小笠原良一 富士盛久美子
会議次第 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 報告 (1) 国療跡地利活用検討委員会の検討状況について (2) 次期総合計画について (3) 大内地域の学校統合問題について (4) 大内総合支所耐震診断調査の結果について (5) コミュニティバスの運行について 4. 協議 (1) 地域協議会の今後の方向性について (2) 地域づくり推進事業について 5. 閉会	
会議の経過	別紙のとおり

出席者名簿（36名）

委員(25名)		
1	会長	佐々木盛三
2	副会長	佐々木ハツ
3	委員	三浦 修
4	〃	石井 清
5	〃	佐々木良行
6	〃	中村勝男
7	〃	伊藤 健
8	〃	工藤 榮
9	〃	佐々木廣二
10	〃	菊地敬作
11	〃	大竹鉄男
12	〃	佐々木多悦
13	〃	戸堀恵子
14	〃	齊藤貞雄
15	〃	田口正夫
16	〃	布施隆子
17	〃	小嶋 宏
18	〃	佐々木正男
19	〃	伊藤直子
20	〃	阿部順子
21	〃	東海林重
22	〃	東海林長子
23	〃	堀 隆一
24	〃	佐々木耕市
25	〃	鈴木鋭一

職員(11名)		
1	総合政策課 課長	原田正雄
2	総合政策課 課長補佐	柴田浩樹
3	教育委員会事務局 教育総務課主幹兼課長	打矢郁良
4	大内総合支所長	伊藤 久
5	振興課 課長	松永 豊
6	市民福祉課 課長	山口光也
7	産業課 課長	佐々木高志
8	教育学習課 課長兼大内公民館長	菊地久昭
9	下川大内出張所 主席参事兼出張所長	佐々木孝
10	事務局 課長補佐	佐々木司
11	事務局 主査	田口俊一

会議の経過

平成24年度 第4回大内地域協議会

平成25年 2月16日(土)

午前10時00分 開会

正午12時00分 閉会

1. 開会(進行:振興課 田口主査)

2. 会長あいさつ

●佐々木(盛)会長

本日は都合により土曜の開催となりましたが皆さんお忙しいところ、ご都合があったかと思いますが、このようにたくさんの方々にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

本日は報告から協議等とたくさん案件があるようです。また大内地域の学校統合の問題もあるようですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

●日程説明(振興課 田口主査)

3. 報告

(1) 国療跡地利活用検討委員会の検討状況について

(2) 次期総合計画について

●佐々木(盛)会長

それでは、国療跡地利活用関係と次期総合計画関係の二つについて報告よろしくお願い申し上げます。

○国療跡地利活用検討委員会の検討状況について及び次期総合計画について報告

(総合政策課 原田課長)

●佐々木(盛)会長

只今、総合政策課よりご説明ありましたが、皆様何かご質問等ありましたらよろしくお願い申し上げます。

●A委員

参考までお聞きしたいのですが、活用検討委員の中には大内地域からは何名が入っているのでしょうか。

それからもう一つ伺いますが合併前の契約のようですが、新市になったのですから、この取り決め・契約は絶対に変更等はできないというものなのでしょうか。

◎説明者(総合政策課 原田課長)

検討委員の中には大内からは1名選出しております。

もう一つは契約の話かと思いますが、資料によれば平成15年の国療廃止となってから、建物を壊し、更地にし、その後廃棄注射針が見つかる等いろいろ経緯がありましたが、厚生労働省と秋田県と旧本荘市が5回の協議を開催、合併直前に合意に至った模様です。

勿論、当時の合併協議会の方にも協議・説明をされご理解されているようです。

当時の契約の中にはスポーツ・防災・福祉の用途に使うという中身になっています。この用途以外に使用する場合には制限がございます。用途を変えて使用の場合は違約金が発生するということになっておるようですので、活用検討委員会にもこのように説明して、スポーツ・防災・福祉の用途から外れないよう検討をしてもらっている状況です。

●佐々木(盛)会長

他にありませんか。

無いようですので、次に大内地域の学校統合問題につきましてご説明お願いいたします。

(3) 大内地域の学校統合問題について

○大内地域の学校統合問題について報告（教育総務課 打矢課長）

●佐々木(盛)会長

只今、ご説明を受けましたが皆様何かご質問ありませんでしょうか。

●B委員

アンケート調査されたようですし、中学校の現地調査もされたようですがその結果はどのようなものなのでしょうか。

◎説明者（教育総務課 打矢課長）

アンケートは簡単な設問なのですが、一つのポイントとしては統合した場合には既存の中学校を使いますか、新規で建てますかというような質問ですが、これには既存の学校を活用という回答が多かったです。

あとは、既存の校舎の場合はどちらを活用しますかという質問ですが、こちらは下川大内・上川大内地区は大内中を活用、岩谷地区は出羽中を活用ということでやはり地元が良いということで明確な判断は出なかったものです。

また、新しく校舎を建てる場合はどこが良いでしょうかという設問もありました。これにつきましては多くの方が岩谷地区から大内地域の境界までの間と色々な回答がありましたが、どこが一番多いかという結論は出ておりません。

あと、自由にご意見や感想を書いて下さいとしておりましたが、大半の方は統合はやむを得ないと考えており9割の方々が賛同している内容でした。

また、どちらの学校を利用するにしても通学方法を確保してほしいと多くの方が書いておりましたので、通学方法についても今後きちんと提示していきたいと考えております。

それから、中学校の現地視察についてですが、その時にはご意見を求めませんでしたので、次回3月4日の会議でご意見を伺いたいと考えております。ただ、両方の学校を比較してみて少し差があることを委員の方々は実感されたのではないかと考えております。

●佐々木(盛)会長

他にございませんか。

●C委員

合併はやむを得ないのかなと思っておりませんがお願いがあります。

昨日だったかと思いますが、大阪の子供が合併に反対ということで飛び降り自殺をしています。合併は究極的には子供の為とはいいいながらも、子供の気持ちを酌み取っていたのかなと昨日のニュースを見て思いましたので、子供に対する説明等もきちんと学校の現場の方でも対応してもらいたいと考えています。

もう一つは小学校区・中学校区というところで地域のまとまりやコミュニティが出来ていたかと思いますが、それが合併統合ということで地域性をどうやって保っていくのか、崩壊にならないようにそういったことも考えてほしいと思います。

あと、学校教育課と学校の関係が希薄になっているのではないかと思います。先生方も教育委員会の方を見ているような感じです。学校・教育・地域と言われながらも、ないがしろにされてきているように思いますので、統合にあたってはそういった部分も考えてもらいたいと思います。

◎説明者（教育総務課 打矢課長）

私も今日新聞を読んで知りましたが痛ましい事故が起きました。

保護者の方も含めまして児童生徒は勿論、学校を通じて統合の話をいたしますし、私も教育委員会も足を運んで十分に説明していきたいと考えております。

統合により地域が衰退していくということですが、どの地域に行っても出る話なのですが、私も今年4つの閉校する学校の記念式典に出席してきましたが、地元の方々は学校があつてはじめて地域のコミュニティが保たれるという思いがあるようです。

実際に無くなるのは現実でありますから、どういうふうにかバーしていくか、私共も考えていきたいと思います。また、最後のご意見については十分にご意見をたまわりました。

●佐々木(盛)会長

統合については学校を考える懇談会で協議しておりますが、地域協議会としては、今まで統合の話題は出てこなかったものですから、どのように進展しているのかわからないだろうということでこの度、説明を受けた訳ですが皆様何かご質問ありますでしょうか。

●D委員

私は懇談会の委員であります。この前の学校の現地視察に参加してきましたのですが、大内中には野球場しかないのですが、出羽中には野球場もありサッカー場・陸上に使える広場も近くにあり中学校関係の運動関係には間に合うなど見てきました。

それから校舎そのものはなぜか出羽中の方が傷んでいない、大内中は傷みが激しく補修や改修が必要ではないかと感じてきました。

また、アンケート結果では大内中と出羽中とどっちつかずという状況のようですが、生徒の通学手段さえきちんと確保すれば問題はないのではないかという委員も数名おりました。鳥海中学は鳥海の伏見地区にあるのですが直根、笹子地区の生徒について当時の教育委員会は通学手段や部活動後のバス運行はどうするのか等いろいろと考えて決めたようですので、大内についてもそろそろそういった部分も考えていった方がいいと思います。

●佐々木(盛)会長

ありがとうございました。さきほども申し上げましたように地域協議会の協議案件というものでもございませんが、平成27年度統合を目指して進んでいるということでございますので、参考意見として何かありましたらお願いいたします。

ご意見無いようですので、この問題は終わりたいと思います。

(4) 大内総合支所耐震診断調査の結果について

(5) コミュニティバスの運行について

●佐々木(盛)会長

続きまして、大内総合支所耐震診断調査の結果について、およびコミュニティバスの運行について報告をお願いいたします。

○大内総合支所耐震診断調査の結果について及びコミュニティバスの運行について報告
(振興課 松永課長)

●佐々木(盛)会長

只今、ご説明ありましたが何かご質問ありますでしょうか。
無いようですので次に進みたいと思います。

4. 協議

(1) 地域協議会の今後の方向性について

●佐々木(盛)会長

次に協議に入りますが、地域協議会の今後の方向性についてよろしくお願い申し上げます。

○地域協議会の今後の方向性について説明 (振興課 松永課長)

●佐々木(盛)会長

只今、説明あったように新たな組織に移行する方向で検討しているということのようですが、何かご質問ありますでしょうか。

●E委員

これを見て感じたことを申し上げますが、今までは一方的に決まったことの報告の場という感じでありましたが、新しいまちづくり協議会においては、今後の運営の進め方が問われると思われます。あくまでも地域の要望や住民の声を聴いて、大内地域の現状を分析して意見を論じ上げるような協議会にはいかがかかなと思っています。

●佐々木(盛)会長

ありがとうございました。過去にやってきた地域協議会の結果を踏まえて、このように変わってきているようですが、E委員が申し上げた部分に十分に応えられるようにまちづくり協議会となっていくのではないかと考えております。

◎説明者 (振興課 松永課長)

活動の企画、調査及び実施立案につきましては、基本的には協議会の自主性・自立性を持たせながら、例えば重要な問題に関しては調査に行ったり、そういう役割を与えましょうということのようです。また、活動の支援育成につきましては、金銭的な支援はできませんがその他の活動団体や NPO 法人等からの人的な支援など、広くいろんな意見を聞けるのではないかと期待しているようです。

今後ともいろいろと変えなければいけないということは本庁地域おこし課とも一致していますので、他の地域協議会の情勢も踏まえた上で、今後、条例案や組織案が出てくるかと思しますので、その時にはまた皆様方よりご意見を拝聴したいと考えておりますので、その際にはよろしくお願い申し上げます。

●佐々木(盛)会長

他にありませんか。

無ければ次の地域づくり推進事業に進みたいと思いますので、説明をよろしくお願い致します。

(2) 地域づくり推進事業について

○地域づくり推進事業について説明（振興課 田口主査）

※平成 25 年度地域づくり推進事業要望及び平成 24 年度地域づくり推進事業の実施状況報告

●佐々木(盛)会長

ありがとうございました。皆様方より何かご質問ありますでしょうか。

●F 委員

予算については大丈夫なのでしょうか。また、事業をする団体名はありますが代表者の氏名が無いので、誰が実施するのかわからないので名前を出してもらいたいです。

それから、大内地域は積極性がないので行政側が先になるのではなくて民間・一般の方々が率先していろんな事業を実施していった方が、町内の方々にもご理解を得れるのではないかと思います。

◎説明者（振興課 田口主査）

予算につきましては、議会の関係がございますが大丈夫かと思えます。また、要望書には代表者氏名がありますので、今後は記載するようにしたいと思います。

●E 委員

大内地域は 24 年度の予算枠で約 200 万程しか活用できなかったようですので、今年は十分に活用してもらいたいと思います。

◎説明者（振興課 田口主査）

平成 25 年度の要望額が予算枠を超えている状況ですので、今年は十分に活用できるものと思います。

●佐々木(盛)会長

他にございませんか。

質問無いようですので、本日の協議会を閉会したいと思います。本日はありがとうございました。

5. 閉会

